

学校運営に係る取組

学校支援に係る取組

地域貢献に係る取組

学校(園)が連携した地域ぐるみの取組



「子どもたちの困り感の解消等に向けて」

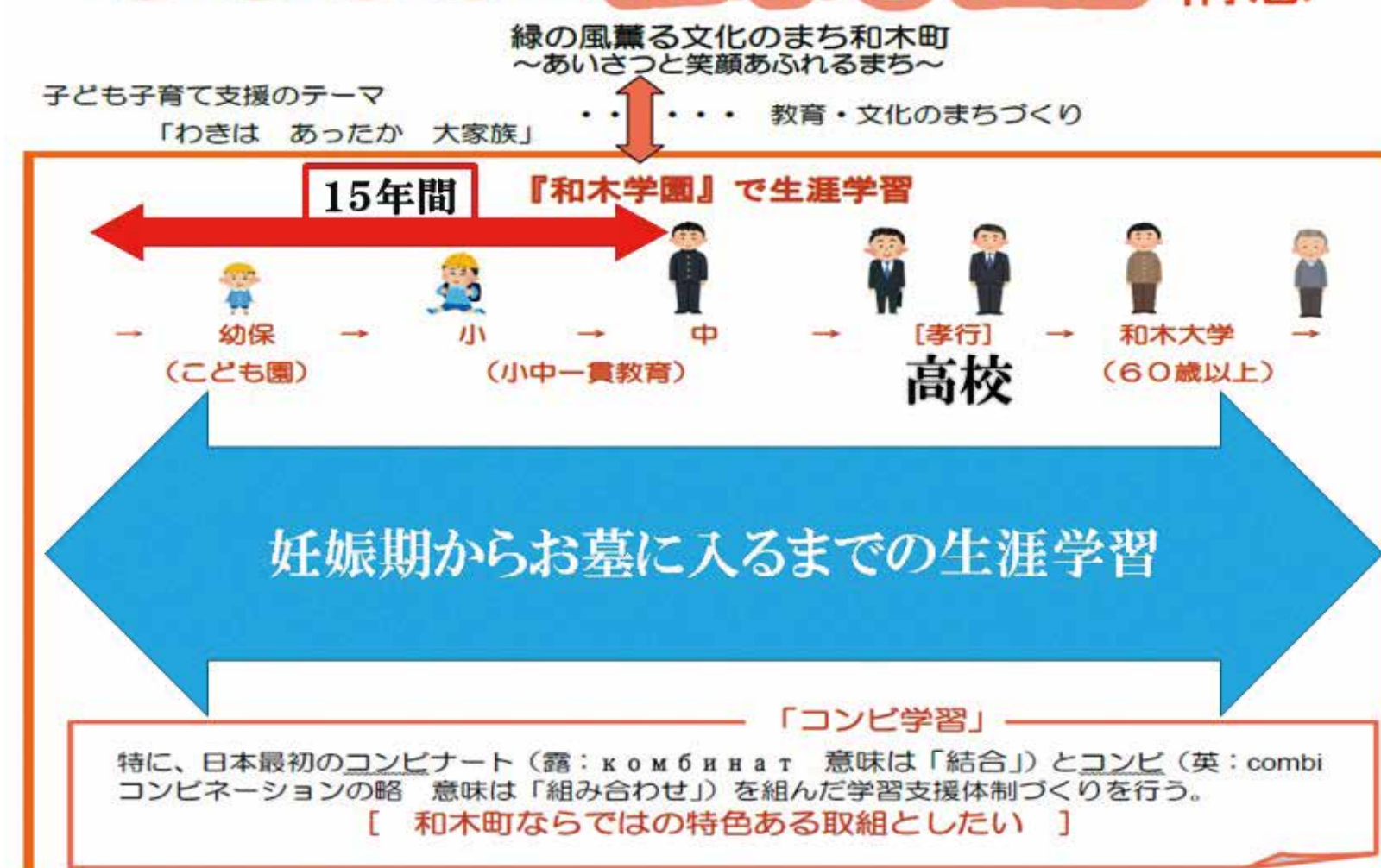
岩国市教育委員会 藤井 明男

岩国市内の中学校2校において、コミュニティ・スクールと地域協育ネットに取り組み、校長として運営後CSコンダクター・地域連携教育アドバイザーとしての取組が4年になります。岩国市では、それぞれの地域の特色を生かしたCSや協育ネットの取組が進んでおり、その好事例を掲載した「CSだより」を毎週発行し、市内の教職員全員に広く情報発信しているところです。今後も子どもたちの困り感の解消等に向けて、一緒に取り組みたいです。

和木町の推進構想

和木町には、中心部に幼稚園・小学校・中学校が各1校、及び総合コミュニティセンター、図書館、体育センター、文化会館、美術館など教育施設が集中しており、コンパクトな学校教育、生涯学習環境が形成されています。本町の学校教育は、幼稚園・小学校・中学校と、同級生が同じ学校で過ごすことから、15年間を通して「単一の学園」と同様の一貫した教育が可能となります。また、

町ぐるみ『和木学園』構想



60歳以上では高齢者大学の「和木大学」が開校され、生涯学習の場として活用されています。しかし、義務教育卒業後から壮年期の学習・活躍の場づくりや、町内コミュニティの構築などが課題となっています。

こうした学校教育、社会教育、社会活動をそれぞれが単独で実施するのではなく、町ぐるみ「和木学園」という大きな枠の中で連携しながら進めることで、町民全てが、生涯いきいきと活動する場があり、町民総活躍のまちをつくることのできるのです。

この町ぐるみ「和木学園」構想を土台とし、

学校と地域が連携して地域とともにある学校づくりの具体的な活動の一つに「和木町コミュニティ・スクール委員会」があります。地域協育ネット協議会とコミュニティ・スクール推進協議会をひとつにまとめ、平成27年度より始動しました。幼稚園・小学校・中学校を一貫した教育を進めることも含め、学校運営協議会・PTA・地域協育ネットコーディネーター・文化協会・体育協会・家庭教育支



援チーム・すすくフェスタ・幼稚園・小学校・中学校・教育委員会が一同に、「学力向上」、「心の教育」、「体力向上」に分かれ協議をします。「めざす子ども像」を考え、その後、幼稚園・小学校・中学校の全教職員で、具体的な取り組みを考え実践しています。

企業との連携による学習活動も実践しています。和木町には、日本最初の石油化学コンビナートを擁しており、学校又は地域と協働した取組として「コンビ学習」と称しています。正にコンビです。次世代を担う子どもたちに、企業の優れた教育力を地域に還元する取組として毎年行っています。

取組

▼区分についての指示無し(要確認)

学校運営に係る取組



和木町コミュニティ・スクール委員会

「和木町コミュニティ・スクール委員会」で学校、地域、家庭の代表が、めざす子ども像について話し合っています。その後、和木町の全教職員でさらに具体的な取組として話し合います。

学校支援に係る取組



和木中学校

学校からの要請にコーディネーターが地域人材に繋げ、教育活動の取組となっています。地域の方とのふれあいを大切にすることを目的に実践されています。

学校(園)が連携した地域ぐるみの取組



和木町内(町内一斉清掃)

毎年、春・秋に行われる町内一斉清掃です。「和木町コミュニティ・スクール委員会」の心の教育部会から、町内行事への参加を目標に取組がなされています。当日は、自宅周辺地区の清掃を主にしています。

学校(園)が連携した地域ぐるみの取組



和木町関連施設

町ぐるみ「和木学園」構想は、町全体を学園と捉えた生涯学習の推進です。その中で、社会科見学と称して、和木町に関連のある施設を見学しています。(弥栄ダム見学:和木学園「ダムツアー」)